

大垣城 大垣市郭町2丁目52番地

天文4年(1535年)に宮川安定によって築城されたとされています。慶長5年(1600年)の関ヶ原の戦いでは、西軍・石田三成の本拠地にもなり、本戦部隊が関ヶ原に移動した後も壮絶な攻防戦が繰り広げられました。関ヶ原の戦いの後は、三河以来の徳川家家臣であった戸田氏(初代藩主:戸田氏鉄)が1635年に入城、以降明治に至るまで、戸田氏が大垣10万石の藩主として大垣を統治しました。1600年9月15日に起こった関ヶ原の戦いの前哨戦といわれる杭瀬川(くいせがわ)の戦いはその前日9月14日に起こった。西軍が三成の家臣島左近の活躍で東軍を打ち取って大勝利した戦いであったが、関ヶ原の戦いでは半日で敗北したとされている。(説明版、パンフ)



正面入り口の東門



説明版



天守



高札



藩札



天守(かつては国宝だった)



おあむの松(2代目)



戸田氏鉄銅像

